

## NX、Creo統合環境での照明解析

こんなことで困っていませんか？

- 使い慣れた3D CAD上で照明解析を実施したい
- 3D CADと照明解析ツール間のデータの入出力が煩雑
- 利用ツールが異なることで、後工程や承認者との意思疎通が滞る

従来、光学ソフトウェアとCADが独立していたことから、データ入出力や正しく互換できているかを確認する作業に多くの時間が割かれていました。Ansys Speosは、NXやCreoに統合された光学解析環境をご提供し、照明設計を強力に支援します。

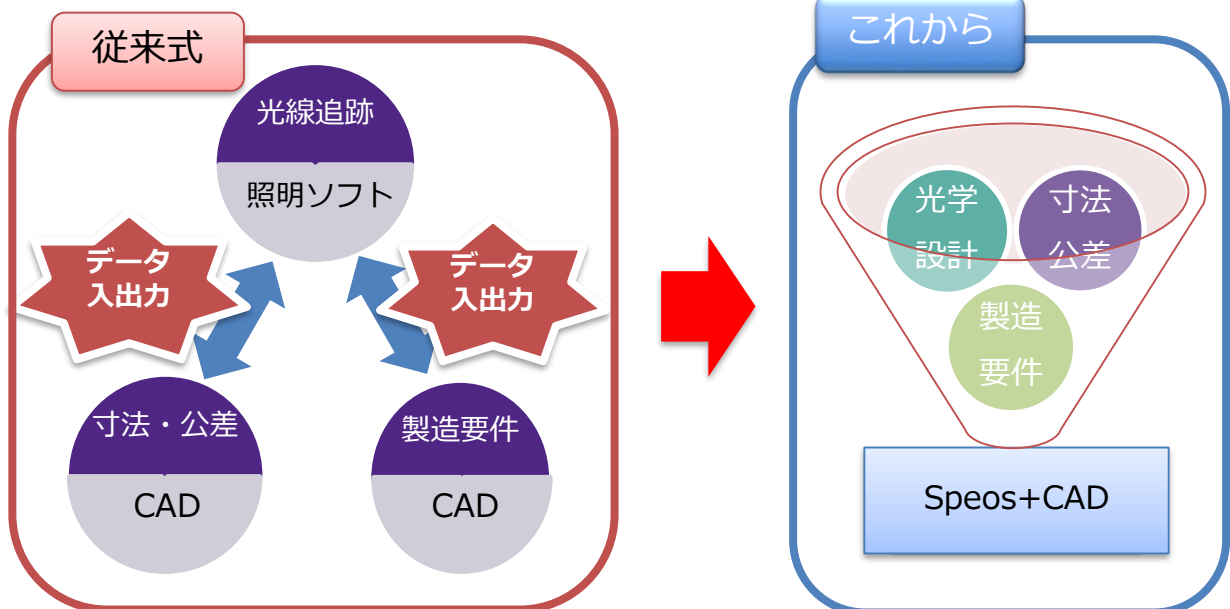
■ NX、Creoアドオンでのシームレスな照明解析が可能に ■

Ansys SpeosはNX,Creoアドオンにてスタンドアロン同等の照明解析環境をご提供しております。以下のようなメリットを得られます

- ・ 使い慣れたUI上で照明解析が行えることで、習得の時間を最小限に抑えられます
- ・ 3D CADで行う構造設計や寸法公差解析のたびに形状を出力する手間を無くせます



CAD上で光線の振る舞いを可視化。  
CADのツリーも利用可能



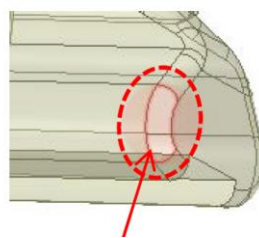
光学解析、公差解析、製造要件の検討をお使いのCAD上で一貫して実施できます

## データ入出力に伴う工数と不具合を防止

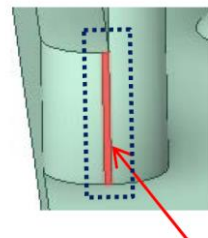
Stepやigesといった中間ファイルに変換する際、データの一部が抜け落ちたり、形状が変化してしまう場合があります。

このような意図しない変化に気づかず光学解析を行ってしまうと、重大な不具合の見逃ごしにつながります。

しかし、CADアドオンの照明解析ツールを利用すれば変換作業自体が必要なくなるため、このようなリスクを負うことなく、本来の設計業務に集中できます。

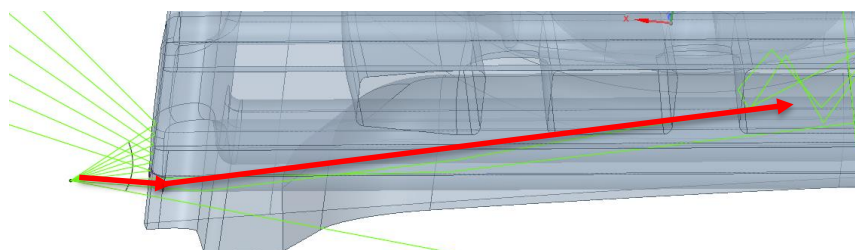


穴(すき間)



意図しない面の分割

データ変換時の不具合例



面落ちした箇所から光線が部品内部に侵入し、正しくない結果になった一例。CADアドオンなら、このような心配なく設計業務に集中可能

## 承認者、後工程とのやり取りの円滑化

- DRなどの設計確認イベントにおける承認者とのやり取り
  - ・ 承認者も慣れたツール上で会話できることで、意思疎通の効率や質を向上でき、手戻りの防止に役立ちます
- 機構設計者とのやりとり
  - ・ 設計変更の履歴を残せることで、設計意図や根拠の明示に役立ちます
  - ・ 形状データの入出力ごとに必要だったマテリアルの設定作業がなくなり、ストレスなく機構設計者の設計変更の影響確認を行えるようになります

## 効果

- 効果1 慣れた環境で開発が完結できることによる習得コストの削減
- 効果2 データ入出力に伴う工数の削減、不具合の防止
- 効果3 共通ツール利用による承認者、後工程とのやり取り円滑化

お問い合わせ

サイバネットシステム株式会社 CAE事業本部 CAE第2事業部  
E-mail: [optsales@cybernet.co.jp](mailto:optsales@cybernet.co.jp)  
WEB: <https://www.cybernet.co.jp/optical/>

CYBERNET

Anslys、ならびにANSYS, Inc. のすべてのブランド名、製品名、サービス名、機能名、ロゴ、標語は、米国およびその他の国におけるANSYS, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。その他すべてのブランド名、製品名、サービス名、機能名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。